

びーのびーのは、子育て中の親子がいつでも立ち寄れるほっとできる場所です。

びーのびーの 通信

2012年 1・2月号

NO.138 ■ NPO 法人びーのびーの事務局 ■

〒222-0037 横浜市港北区大倉山3-57-3

TEL045-540-7422 FAX045-540-7421

URL <http://www.bi-no.org>

●今年も！みんなで手をつないで行こうね♪

2012年 震災に学び、糧とする未来にむけて

千年に一度といわれる大地震と津波、そして諸刃の剣としての原子力発電所の事故、私たちは未だに未経験の惨事の中でとまどいながら生活しています。

18年目を迎える阪神淡路大震災の時には、びーのびーのやどろっぷのような子育てひろばはまだ広がっていませんでした。新潟中越地震の時には、子どもや子育て家庭に配慮した避難所の環境が整えられ始めました。東日本大震災では、ITの進展により全国から草の根の応援が届けられ、子育て支援NPOや市民団体が子どもたちや子育て家庭への支援に尽力しています。しかし、現地から聞こえてきた声は以下のような点でした。

- ◆普段から身の回りにある支援サービスでなくては使えない
- ◆普段から顔見知りであることが支えになった
- ◆行政も被災、普段から世代、地域を越えた市民同士のつながり、ネットワークが必要

所属感を育みにくい乳幼児の子育て家庭にとって、普段から心の支えとなる拠点・ひろばであること、普段から身近に子どもを預けられる仕組みがあること、身近に相談できる人がいること、たいへんな時には訪問してくれる等…緊急時のみならず普段から使える支援サービスが必要なのです。やるべきことはまだまだいっぱいあります。

災害の多い日本だからこそ、人々は伝えあい、支え合い、学び合い、利己主義ではない、共助、公助の社会を作り上げてきたのだと思います。子ども・家庭支援のNPOとして活動してきた10年ですが、今後もうまく限りの被災地支援と、知恵の継承、そしてさらに震災に学び、糧として未来につなぐ仕事をきっちり行っていきたいと思います。

多くの命を失った大震災。新たな確固たる芽吹きを育むために、私たち一人ひとりの生き方が問われています。

(NPO 法人びーのびーの理事長 奥山千鶴子)

横浜子育てサポートシステム「第3回おためし保育」のお知らせ！

子育てサポートシステムの会員に登録済みの方で、初めて預ける・預かることへの不安を軽減するために行うどろっぷでの保育です。当日はコーディネーターも見守っていますので、初めての方も子育てサポートシステムを安心して利用するきっかけとして、是非この機会にご参加くださいね♪

＜＜実施要綱＞＞

日時：2月15日(水)16日(木)17日(金) 10:00～12:00の保育／提供会員の解散 12:15頃

対象：入会以降、利用したことがない会員 各日4組限定

場所：港北区地域子育て支援拠点 どろっぷ(大倉山3-57-3)

料金：利用会員(預ける方) 1,500円(通常1,600円)

報酬：提供会員(預かる方) 1,600円(別途、交通費支給)

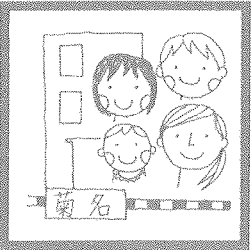
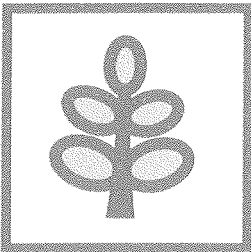
申込：2月1日(水)より先着順、定員になり次第締め切り

*詳細は子育てサポートシステム港北区事務局(TEL:045-547-6422)にお問合せ下さい。

*新規の会員登録は、子育てサポートシステムの説明会にご参加ください。



おやこの広場
びーのびーの



ひろばの風景

びーのびーのは商店街の一番奥にあります。だからひろばに来るときにはいろいろな店の前を通ります。途中、犬を見ようとペットショップのウィンドウにはりついて動かなくなったり、八百屋さんの前ではついつい大好きなバナナに触りたくなります。牛乳やさんの前ではきまって自動販売機のボタンを押したがるし、なかなか前に進みません。あ〜、ひろばまでが近いようで遠い道のり。今度は突然走り出し、いつも開いているお茶屋さんにそのまま突入、店先にあった三輪車に乗りたくて駄々をこねる、なんてこともあります。やっとのことでびーのびーのにたどり着くと「今来たの〜？」 声の主は斜め前の菓屋のK子さん。子どもお母さんも聞きなれたあたたかな声にほっこりする瞬間です。子どもたちは好奇心のかたまり。世の中のすべてのものを見たくて触りたくて食べたくて…。たった100mほどの道にたくさんの宝ものを発見します。この商店街で日々育っているびーのびーの子どもたち。ご迷惑をおかけすることもあります。今年も1年よろしくお願ひいたします。
(菊名ひろば代表 早川)

ひろば利用案内

<入会金>・・・1000円
 1ヶ月フリーパス・・・2100円/月
 1回利用料・・・300円/回
 マタニティ利用料・・・200円/回
 ビジター利用料・・・500円/回

◆0〜3歳の子どもが対象です。 ◆ひろば見学は、初回のみ無料です。
 ◆きょうたいで同時にひろば利用される場合、2人目以降半額。(6ヶ月未満は無料)ただし、下のお子さんは上のお子さんのひろば卒業と同時に正規料金となります。
 ◆ひろば利用料は、びーのびーのの運営、維持費として活用させていただきます。

※入会金は、1家族初回のみ。
 のちにきょうたいが入会の場合は不要。

【開館時間】
 月・火・木・金 9:00〜16:00
 水曜日 13:00〜16:30
 第3土曜日 10:00〜14:00

【休館日】
 第3土曜日以外の土曜日・日曜日
 祝日・年末年始・特別休館日

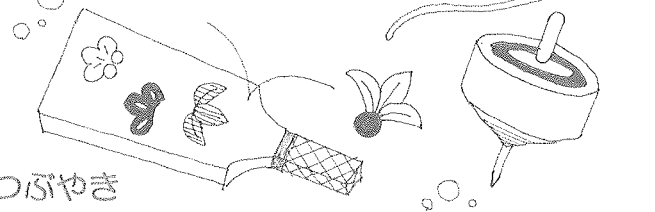


1月 Calendar

月 火 水 木 金 土

2	3	4	5	6	7
冬期特別休館					
9 成人の日	10	11 13時開館	12	13 お外で ひろば	14
16	17	18 一日休館	19	20	21 10:00 〜14:00 開館 お話し会
23 子育て 相談日	24	25 13時開館	26 親子体操	27	28
30	31	1日(日)〜5日(木) 冬期特別休館 6日(金) から開館します。			

- 13日(金) 10:30〜 お外でひろば
親子で一緒に公園に出かけましょう。
遊びのマイスター真壁が同行します。
汚れてもいい服装で。雨天中止。
予約：不要 参加費：50円
- 18日(水) スタッフ研修の為、
1日休館とさせていただきます。
- 21日(土) 11:30〜 お話し会
元気な子も集まれ！まずは気軽に参加してね。
- 23日(月) 14:20〜15:50 子育て相談日
臨床心理士の伊志嶺美津子先生が子育ての
中で出会う不安や心配な事を一緒に考えて
下さいます。
- 26日(木) 13:30〜親子体操
親子で体を動かしましょう。
子どももママも動きやすい服装で。
予約：不要 参加費：無料



タイトルリニューアル♪

会員さんとボランティアのつばやき

ひろばでは親子ボラ(子どもと共に活動するボランティア)以外にも親子ボラを卒業し就学児がいるボランティア、シニアボランティア、学生ボランティアと様々な人が活動しています。そんな皆の心のうちをリレーでお伝えします。

びーのびーのには長男(7歳)長女(5歳)とも保育園に入園するまでの間、散々お世話になりました。その後、びーのびーのを卒業してからも土日開催のバザーやお祭りなどのイベントに参加したり、通信のお手伝いなどを通して母子共に2年くらい細〜く繋がっていました。でも先月、私は改めて復活宣言。実は第三子を妊娠し来春出産予定。産休育休を取得できる事になり、またこれから1年ほどはどっぴりひろば通いができそう。再び迎えてくれた皆さんの笑顔が嬉しかった。また通い始めたびーのびーの、最近は三人きょうだい家庭が珍しくないみたい。びーのびーのを卒業した後またカムバックした例もたくさん。びーのびーのの11年のあゆみはその機会を与えてくれている。卒びーのっ子がまたその子どもを連れて訪れる日も遠くないかもしれない。
(卒びーのっ子=びーのびーのを卒業した子どもたち) (ボランティア Y)



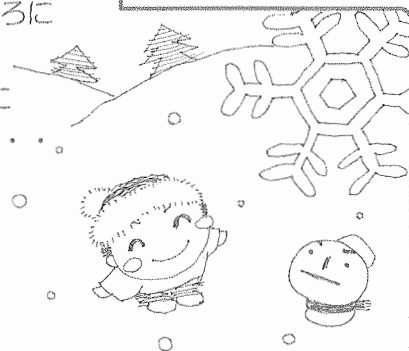
グループ保育の風景



日に日に寒さが増してきますが、ゆーのびーの子どもたちは外が大好き。毎回行く公園では砂場で山をつくったり、型抜きでケーキやプリンなどを作って遊んでいます。時には山を崩されて涙を流すことも……。でもだんだん「いや、やめて。」という気持ちを相手に伝えられるようになって、最初のころに比べると随分子どもたちも成長してきましたよ。

また、お弁当もなかなか全部食べられなかった子がピカピカに食べたときにママに弁当箱を見せている姿や、ある時「バンソコエードちょうだい。」と……。どうするのかと見てみるとパズルの破れかけに貼り付けていた、というような姿には心がなごみます。

友だちとのやりとりもグループ保育の良いところだなと感じています。残り3ヶ月の保育もお外でいっぱい遊ぼうね！（1）



■9日（木）13:30～ 赤ちゃん体操

赤ちゃんとゆったりと優しく触れ合いながらの体操です。体操の後はお母さんのためのリラックスタイムもありますよ。

要予約：10組 参加費：300円

■15日（水）スタッフ研修の為、1日休館とさせていただきます。

■18日（土）11:30～ お話し会

元気な子も集まれ！まずは気軽に参加してね。

■20日（月）14:00～15:30 子育て相談日

臨床心理士の伊志嶺美津子先生が子育ての中で出会う不安や心配なことを一緒に考えてくださいます。

- ☆ 一般参加の場合、ひろば利用料として500円別途いただきます。
- ☆ 水曜日の開館時間は13:00～16:30です。
- ☆ 今月の助産師がいる日は16日（木）午前です。お気軽にご相談を。（不在の場合もあるのでご了承ください。）



2月

Calendar

月	火	水	木	金	土
		1 13時開館	2	3	4
6	7	8 13時開館	9 赤ちゃん体操	10	11
13	14	15 一日休館	16	17	18 10:00～14:00 開館 お話し会
20 子育て相談日	21	22 13時開館	23	24	25
27	28	29 13時開館			

びーのびーのでは子ども達が遊ぶ場所として、園庭を貸していただける幼稚園、保育園を募集しています。詳細はびーのびーの菊名ひろば迄

～座談会報告～ 子どもたちを取り巻く環境について

昨年12月13日にひろばにて行われた座談会の内容をお届けします。子どもたちが遊び、生活する環境について話そうと第一回目のこの日のテーマに「公園」を取り上げました。身近な遊び場である公園ですが、「安全」「自然」「地域の人々とのかかわり」などをめぐり、以下のような現状が浮かび上がりました。

- ・子どもの頃に自分が遊んでいた公園は、安全重視のために整備されて今は雰囲気が変わったのと同時に探検ごっこや隠れるのによい場所がなくなりました。
- ・数年前の子どもの事故をきっかけに老朽化と危険防止を理由に近隣の複合遊具が次々と撤去され、更地が増えてきた。
- ・土の感触を楽しめる公園が少ない。近所がないため実家まで戻り、庭で子どもをよく遊ばせた。
- ・自分が育った実家周辺が自然に恵まれていたので、公園に行ってお遊ぼうという発想が横浜に来るまでなかった。

- ・公園に行っても、遊んでいる子がまったくいないと我が子を遊ばせにくい。
- ・近所の地形に高低差があり、なかなか公園まで足をのばしにくい。
- ・犬を散歩させる人が多い。飼い主の判断によって、子どもが触ってもよい犬やダメな犬など様々。



各自の思いや体験を話すうちに、私たちが「公園」という場に望むものが少しずつ見え始めました。安全は大切だが思いきり遊べる空間、土や砂、緑に触れる機会、地域の人々や動物との出会い。親子ともに笑顔になれる場所であってほしい。残念ながら親の願いと上記の現状は必ずしも一致していません。明日の子どもたちの居心地の良い場所づくりにつながるワンステップとなるよう、今後も引き続き子どもの居場所について座談会を開く予定です。皆様、ぜひご参加ください。

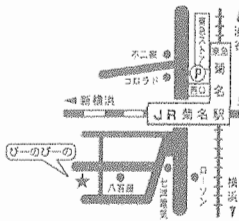
びーのびーの活動って？

NPO法人びーのびーのは、地域で共に育ち合う子育て環境を目指して、港北区内に拠点を置き事業を展開しています。また、各拠点にどう人とのつながりを大切にしつつ、さまざまな連携を図りながら地域への発信をしています。

拠点

親と子のつどいの広場事業 おやこの広場 びーのびーの

◆横浜補助事業「親と子のつどいの広場事業」
2000年4月開設。商店街の空き店舗を借り上げて、子育て当事者で立ち上げた子育てひろば。利用者である会員やスタッフ、ボランティア、地域の人たちと共に、子どもの遊びや育ちを見守り、出会うひろば。子どもも大人も居心地の良い居場所づくりを目指して取り組む。<http://www.bi-no.org/>



〒222-0021
横浜市港北区篠原北 1-2-18
TEL 045-439-7447
FAX 045-439-7448

◆開館時間◆
月・火・木・金 9:00～16:00
水曜日 13:00～16:30
第3土曜日 10:00～14:00
◆休館日◆
第3土曜日以外の土曜日
日曜日・祝日・年末年始
・特別休館日

東急東横線・JR横濱線菊名駅西口より徒歩2分

港北区地域子育て支援拠点 どろっぽ

◆港北区地域子育て支援拠点委託事業

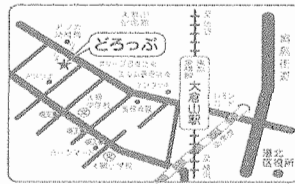
2006年3月開設。0歳～6歳までが登録。横浜市次世代育成支援行動計画「かがやけ横浜子どもプラン」における1区に1つの支援拠点モデル事業として開設。5つの要綱(親子の居場所事業/相談事業/子育て情報の収集発信事業/ネットワーク事業/人材育成事業)を総合的に取り組むための拠点として運営。<http://www.kohoku-drop.com/>

- ・ボランティア体験講座「ボラリーグ☆こうほく」
- ・「港北区子育て応援メールマガジン ココめ〜る」

◆横浜子育てサポートシステム港北区支部事務局

地域の中で子どもを預けたり、預かってもらうことで人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみでの子育て支援をめざす「横浜子育てサポートシステム」の港北区支部事務局として2010年7月より運営。

(月～土曜日 9:00～17:00・専用 TEL 045-547-6422)



東急東横線大倉山駅徒歩10分
または市バス41系統川向町行き「観音前」下車

〒222-0037
横浜市港北区大倉山 3-57-3
TEL 045-540-7420
FAX 045-540-7421

◆開館時間◆
火～土曜日 9:30～16:00
◆休館日◆
日曜日・月曜日・祝日・
年末年始・特別休館日
◆登録料・利用料◆ 無料

事業

◆預かり保育事業「ゆーのびーの」

今年度は2～3歳児のグループでの預かりを、おやこの広場びーのびーので水曜日の午前にも実施。在宅家庭支援に必要とされる幼児期の預かりへのニーズに対応する。預かりを通じて親との信頼関係を築き、地域からの理解を得ながら活動。

◆子育て関連情報の編集・制作・販売

- ・広報紙の発行(毎月)
法人全体の事業や地域の子育て関連情報を紹介。
- ・幼稚園・保育園ガイドの発行(年1回)
港北区および周辺地域の園情報を掲載

◆菊名 WARA・びー実行委員会

小学生を中心に親子でまちの歴史を学び、交流を深めることを目指した地域交流事業。

◆ウェブサイトの編集・制作・運営

・港北区子育て応援マップ【ココマップ】

<港北区社会福祉協議会受託事業>

2004年9月、子育て情報サイトを開設。子育て当事者らによる編集委員会を毎月開催。特集ページの作成、子育て関連イベント情報の提供など充実したサイトを運営。

<http://www.kouhokushakyo.or.jp/>

◆わくわく子育てサポーター事業

学生ボランティアが子育て家庭を訪問し、乳幼児家庭のお手伝いに参加する活動を中心に、活動前の研修や地域学校や保護者との連携の体制づくり、学生ボランティアの活動支援作りのための場づくりを支援。

法人事務局

●NPO法人

びーのびーの事務局
正会員・準会員の管理をはじめ、対外的な窓口として機能を果たす。

関連法人事務局

●NPO 法人子育てひろば
全国連絡協議会事務局
全国の子育てひろばの会員組織を研修事業・調査研究事業などでサポート。

編集後記

お姉ちゃんが転んで掌をすりむいた。絆創膏を貼ってあげているのをじーっと見ていた1歳の妹。ちっちゃな手を広げて「こっこ、イタイタイ」と真似をする仕草は胸キュンな可愛さです。(か)

びーのびーの通信

No. 138

発行元 NPO法人びーのびーの 発行人 奥山千鶴子
<編集> 米本真貴子 白瀧宏子 今井幸子 高橋直子
原美紀 牧谷泰子 山田弘美 戸松綾子
<イラスト> 山田弘美 館 裕香 牧谷泰子



1ポイント アダプス 今年のスギ花粉の飛散は昨年の1/3、平均並みの予想です。2月初めには対策を。

よねもと耳鼻咽喉科

・・・ベビーカーでの来院可・・・

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00～1:00	○	○	休	○	○	○	休
PM 3:00～7:00	○	○	休	○	○	休	休

休診日 水曜日・日曜日・祝日・土曜日の午後

TEL 045-434-3347

〒222-0013 横浜市港北区錦が丘16-16 YKビル3F

伝言板

・・・佐賀県 唐津の山里より 肉厚の蒲焼いたり・・・



唐津市 鍛木町、美しい山『天山』の専用トンネルで小さな農家が心をこめてつくっている

しいたけ

一枚、一枚おぼあちゃんが手作りでつめています。だから少しお届けに時間がかかるかもしれません。けれど、「確かな安全」と「おいしさ」をお届けします!

15パック以上のご注文で、1パック300円(送料込)×パック数分のお支払いです。(1パック5～6枚入。先払いにて承ります。)

最少のご注文は、3パックから。
3～5パックの場合 410円/パック
7～9パックの場合 400円/パック
10～14パックの場合 350円/パック
農事組合法人 広農塾
TEL/FAX 0955-65-2065
佐賀県唐津市鍛木町
電話 744-4